

## 大災害時初動期の医療体制について



中川 朗  
議員

医師会、日本赤十字社及び保健所と連携しながら救護を行うこととしています。

### ○健康保険部長

医師会を初めとする関係団体と災害時の医療救護活動等に関する協定を締結し、締結した団体と医療救護班の編成や備蓄する医薬品の選定などについて意見交換を行いました。救護班の編成案を作成しました。

### このほか

- 読書通帳について
- 高齢者宅緊急通報システムについて
- 大規模災害時の支援物資供給体制について

## 本社機能のある企業の誘致について



海老原光男  
議員

行政においてどのような事業を行うにしても財源の確保が重要だと考えています。財源なくして市のさまざまな事業は行えないからです。

以前からの課題である鉄道高架、新市立病院建設、そして今後の課題である新庁舎建設、公共施設の改修、また、

ますます加速する高齢化に伴う保健・医療・福祉の問題など、今後多額の費用が掛かる案件がめじろ押しです。

そこで、本市の総合振興計画後期基本計画での重点プロジェクトであり、税収並びに雇用の促進などが見込める企業誘致について、市の現状を伺います。

### ○都市整備部長

本市では、総合振興計画土地利用構想において産業指定区域を設定し、企業の立地を可能とした地域を中心に積極的な企業誘致活動を進めています。

産業指定区域は市内全体として142ヘクタールあり、約43パーセントが企業立地済み状況です。

企業誘致活動では、担税力強化につながる本社機能のある企業誘致がもつとも望ましいと考えますが、本市の特徴である交通の利便性を生かした製造業や小売業の生産、販売拠点の誘致を優先し、雇用の促進とともに、産業の集積を図っていきます。

### このほか

- 公共事業の市内業者への発注について
- 農作物の地産地消について

## 小中一貫教育と学校再編について



斉藤 義則  
議員

小・中学校の9年間は、子どもたちが生きていく上で重要な時期と考えます。中一ギャップや、小規模学校の増加は、学校の活力や教育効果を維持する上で課題です。子どもたちが心身ともに健やかに成長し、社会で生きる力を身に付けていくために、課題に的確に対応しなければなりません。そこで、小中一貫教育と学校再編の考え方、取り組み状況を伺います。

### ○学校教育部長

昨年度策定された「春日部市小中一貫教育及び学校再編に関する基本方針」に基づき、学校教育の活性化が図られるよう取り組んでいます。また、さまざまな場面で地域と連携を図り、教育の充実を推進しています。学校再編についても、地域と連携した学校再編プログラムを軸に取り組みを進めています。

また、市内全域で基本方針

の説明会を開催してきました。2つの地域で地域学校検討協議会が立ち上がり、望ましい学校教育環境について検討を重ね、具申書が提出されました。今後は具申書の内容も踏まえ、学校再編計画策定に向けて手続きを進めていきます。

### ○学務指導担当部長

市内小中学校では、児童生徒の交流を深め、研修を通して教職員の連携強化を図るなど、学校や地域の状況に応じた取り組みを行っています。

### このほか

- 春日部市の公共施設のあり方について



児童生徒の交流（应野小学校と大增中学校）

**国民健康保険税  
年額一人1万円の  
引き下げを**



大野とし子  
議員

市の国民健康保険税の平成24年度調定額は県内40市中14位です。所得200万円未満の滞納世帯数は1万1431世帯と全体の約8割です。市民にとって重い負担ですが、市の認識を伺います。

一般会計からの繰入額は県内40市中29位です。毎年10億円の繰越金や、過去最高の基金などの一部を活用し、国税の引き下げをと考えますが、市の考えを伺います。

消費税が上がリ、年金が引き下がる中、市民生活は厳しくなっています。負担を減らして欲しいという市民の切実な願いを市長はどのように受け止めているのでしょうか。

**○健康保険部長**

国保税は県平均並みであり、低所得者層への軽減措置を設けるなど、低所得者へ配慮した賦課方式となっています。

また、一般会計からの繰り入れは、収支の均衡を図るた

めに、やむなく行っているもので、国保加入者以外の納税者との公平性からも、繰り入れを前提に算定するものではないと認識しています。

**○市長**

国保制度は国民皆保険最後のとりでとして維持する必要があり、低所得者に配慮した上で負担能力に応じた保険税を負担いただいています。

**このほか**

○心身障害者の通所施設の現状は

○庄和地域の市道9―3225号線の市道1―101号線との交差点先の道路改良を



国保のしおりとリーフレット

**電話代の見直しについて**



栗原 信司  
議員

通信技術の進歩とともに、固定電話に関して、以前に市役所関連の電話代を節約できる方法として、IP電話の導入を提案しました。

これを受け、平成17年の合併を機に局線の容量不足の解消や本庁舎、その他の公共施設を結ぶ情報ネットワーク構築を目的に、IP電話対応電話交換機に交換したと伺っています。

合併前の電話代の合計は、およそ1600万円だったものが合併後は900万円に料金を縮減でき、差額で設備改良費の負担分も解消できたと聞きました。最近では、携帯電話の通信料金定額制が打ち出されています。これにより、料金そのものがさらに縮減可能となります。技術的にはこれ以上の縮減は難しいところまで改修が進んだ本市として、この定額制導入に関する市の見解を伺います。

**○総務部長**

定額プランによる携帯電話の導入については、経費節減方法の一つとして研究する必要があると考えています。しかし、試行的に実施をする場合でも情報管理面等の確認が必要であるため、まずはそれぞれの制度を採用した場合のメリットやデメリットについて調査研究を進めていきます。

**このほか**

○道路整備と事故防止対策を

○小中学校の暑さ対策を

○電動アシスト自転車の購入助成制度の導入を

○マイナンバー制度の導入は

**2025年を見据えた介護  
保険事業計画の策定について**



矢島 章好  
議員

厚生労働省は、市町村が2015年度からの3年間を見据えて作成する第6期介護保険事業計画に、2025年を見据えたサービスの提供体制や給付・保険料の水準を推計して記載させることを提案しています。

また、在宅医療拠点の機能

や認知症への早期対応といった地域包括ケアシステムを構成する各要素について、より具体的に記載させることも提言しており、これからの本市における介護保険制度の大きな分岐点となると考えられます。

そこで本市では、国の動向等を踏まえ、どのような位置付けや取り組みになるのか伺います。

**○健康保険部長**

今年度策定する第6期介護保険事業計画は、従来の3年間を計画期間とするだけではなく、2025年を見据えた計画として捉えています。

この計画では、介護保険事業計画全体を地域包括ケア計画と位置付け、地域包括ケアシステムの実現のための第5期計画の方向性を継承しつつ、これまでの取り組みをさらに発展させ、2025年までの中長期的な視点に立ち、3年間に目指す目標とサービス、給付、保険料などの具体的施策を定めていきます。

**このほか**

○図書館での「読書通帳」システムの導入について

○ICT（情報通信技術）を活用した教育の推進について



## 議会報告会の開催

市議会では、開かれた議会の実現を目指すため、議会報告会を開催いたします。

普段、議会を傍聴することが難しい市民の皆さまにも、少しでも議会を身近に感じていただけるよう、下記の日程で開催を予定しています。

なお、詳細につきましては、今後、広報かすかべや市議会ホームページ等にてご案内いたします。

市民の皆さまの参加を心よりお待ちしております。

今定例会傍聴状況		月日	傍聴者数	主な日程
5/27	1	上程・説明	1	質 疑
6/3	12	委員会	12	質 疑
5	34	一般質問	34	一般質問
6	38	一般質問	38	一般質問
10	59	一般質問	59	一般質問
12	49	一般質問	49	一般質問
13	21	一般質問	21	一般質問
17	21	討論・採決	21	討論・採決
合計	236		236	

## 平成26年度 議会報告会日程

開催日	会 場	時 間	担当委員会
10月25日(土)	市民活動センター 「ぽぽら春日部」 4階 会議室	9:30～ 12:00	総務委員会 建設委員会
10月26日(日)	庄和総合支所 1階 市民ホール	9:30～ 12:00	厚生福祉委員会 教育環境委員会

## 傍聴して一言

初めて傍聴しましたが、傍聴者が少ない。これから傍聴回数を増やしていきます。

男性70歳

市議会議員の改選が行われ、新しい顔ぶれでの議会であり、どんな態度で新議員は臨むのかと思いい興味を持ち、傍聴しました。

全議員を傍聴するのは日数を必要とし、エネルギーもいるので、たった数時間しか垣

間見れませんでした。常任委員会1回、本会議(一般質問)1回の傍聴でした。全体的には静かな態度で行儀よく議会に臨んでおり、もっと喧々譁々と自由に討論されてもいいのではと感じました。

一般質問では、「提案型」で質問をされていることや一問一答方式が大変好ましく思いました。

声が小さいです。もっと質問者も答弁者も声を大きくしてほしいです。

女性70歳

4月の選挙後、新しい顔ぶ

れの議員が身近な質問をされていて、執行部から前向きに取り組んでいくとの答えが聞け、フレッシュなアイデアで市政に取り組まれ、今後も傍聴参加が楽しみです。

女性・63歳

議会定例会に初めて傍聴させていただきましたが、さまざまな質問に対して、市の各部門からの現状や今後の取り組み等の答弁のやり取りを目の当たりにし、市民のためにこうして議会が開かれているのだとありがたく思いました。今後も議会を傍聴させていただきます。

女性・43歳

初めて傍聴しました。もう少し人数が少なく思っていたので、傍聴されている人数が多く驚きました。

傍聴席の傾斜がきつく、高齢の方が大変そうにしていたのが気になりました。

シティセールスアクションプランについて、非常に期待が持てました。

男性・32歳

※割愛させていただいた部分もあります。

## 編集後記

毎日暑い日が続きますが、市民の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

市議会では、改選後の初めての定例会が行われ、新体制での活動が本格化いたしました。

広報広聴委員も新しい顔ぶれとなり、市議会について、より一層分かりやすくお伝えできるよう努力をしておりますので、これまでと同様にご愛読をお願いいたします。

### 広報広聴委員会

- 委員長 荒木 洋美
- 副委員長 大野とし子
- 委員 石川 友和
- 委員 水沼日出夫
- 委員 斉藤 義則
- 委員 古沢 耕作
- 委員 矢島 章好
- 委員 蛭間 靖造
- オプザーバー
- 議長 河井 美久
- 副議長 栄 寛美

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線3116